



# 鷗外を見たドイツ

鷗外は、『舞姫』の舞台となったベルリンの他に、ライプチヒやドレスデン、そしてミュンヘンなど、ドイツの各都市に滞在しています。

<ドイツ留学>とひとくくりにされてしまいがちな鷗外の異国体験を、国内の各所からふり返ってみましょう。

彼の目を通して、新しいドイツの姿が浮かび上がってくるはずです。

【日時】平成30年1月21日(日)  
午後2時～午後3時30分

【会場】森鷗外記念館 会議室  
※聴講無料

大東文化大学教授

びるまち よしお

講師：美留町 義雄 氏

1967年東京生まれ。専門は、ドイツ文学を基礎とした日独比較文学・文化研究。著書に、『鷗外のベルリン—交通・衛生・メディア』がある。

NHK ラジオのドイツ語講座で、「鷗外を見たドイツ」を担当。また、森鷗外記念会 評議委員を務めている。

同時開催：「鷗外を見たドイツの風景」パネル展示